

スズキ、インドにてBEV「e VITARA」の販売を開始



スズキのインド子会社、マルチ・スズキ・インディア社（以下、マルチ・スズキ）は、スズキ初のバッテリーEV（BEV）「e VITARA」の販売を2月17日よりインドで開始しました。

「e VITARA」は、「Emotional Versatile Cruiser」をコンセプトに、先進感と力強さを併せ持つデザイン、BEVらしいキビキビとしたシャープな走りを実現するBEVパワートレイン、BEV専用に新しく開発したプラットフォーム「HEARTECT-e」を採用したSUVです。

インド国内では、お客様に安心して「e VITARA」に乗っていただくための「e for me」戦略を展開しています。充電網を充実させるため、1,100以上の都市で2,000か所以上のマルチ・スズキ専用充電器を設置しました。2030年までには、販売店、充電器設置事業者を通じて、10万か所以上の充電器の利用を可能とする計画です。また、充電器の検索、自車の充電状況等を確認できる「e for me」アプリも提供しています。さらに、BEVの修理や整備に対応したサービス工場を1,500拠点配備したほか、移動整備車を導入し、BEV利用者の利便性を高め、インド全国で安心して「e VITARA」を使用いただけるよう、サポートしてまいります。

「e VITARA」はマルチ・スズキのハンサルプール工場（グジャラート州）で生産するスズキのBEV世界戦略車第一弾です。欧州、日本で販売を開始しており、世界100以上の国と地域へ輸出する予定です。

以上